



みぎわ会だより

2023
HAPPY NEW YEAR

「やさしい笑顔と手の温もり
心やすらぐ いこいのみぎわ」

社会福祉法人 みぎわ会

特別養護老人ホーム みぎわ園

TEL. 0795 (22) 1358

軽費老人ホームA型 いずみ寮

TEL. 0795 (27) 0777

ケアハウス ハンナ館

TEL. 0795 (27) 1011

デイサービスセンター ナオミ館

TEL. 0795 (22) 8555

みぎわ園居宅介護支援事業所

在宅介護支援センター

TEL. 0795 (22) 9000

みぎわ園ヘルパーステーション

TEL. 0795 (23) 8931

宗教法人 西脇みぎわ教会

TEL. 0795 (27) 0828

〈年4回発行〉

令和4年度 冬号 (第349号)

理事長 來住 壽一

〒677-0064 西脇市八坂町213-1

TEL: 0795-22-1358 (代表)

FAX: 0795-22-3749

E-mail: m-care@d7.dion.ne.jp

URL <http://www.migiwa.or.jp/>

『みぎわ会が大切にしていること』

理事長 來住 壽一

うちはれて障子も白し初日影 鬼貫



明けましておめでとうござい
ます。皆様には、ご家族お揃いで輝
かしい新年をお迎えになられたこ
ととお慶びを申し上げます。

新年を迎えるたびに、明るく希
望に満ち溢れた一年になることを祈りますが、残念
ながらここ数年では叶えられることがありませんで
した。

昨年を振り返ってみると、ロシアのウクライナ侵
攻に心が壊れただけでなく、各地で戦争やテロ、紛
争が起り、北朝鮮による頻繁な大陸間弾道弾の発
射実験の脅威、更には、中国の一路政策による
侵略の危機感などが世界中に広がっております。自
国の都合のみで侵略を続けられ、人類の終局の願
いである世界平和すら望めなくなります。

こうした情勢の中で、ガソリンや電気、多くの生
活必需品などが高騰し生活を圧迫しています。
それだけではなく、地球温暖化の原因になってい
る二酸化炭素の削減目標の努力も延長される結果と
なっています。

年末に日本漢字能力検定協会から「今年の漢字」
が発表されますが、昨年は「戦」に決まりました。
みぎわ会だより新年号で、暗い話は、ふさわしく
ないと思いますが私の実感です。ご容赦を。

巻頭の俳句の「うちはれて」とは、雨が上がり晴
れるという意味です。真新しい障子紙に元日の日影
がくっきりと映っているのでしょうか。

今年こそこうした状況が改善され、明るい話題が
飛び交い心満たされる年になるよう、ボヤいている

ばかりの傍観者ではなく、些細なことであっても前
向きに努力をすることが求められているように感じ
ています。一人一人の人間には、誰にも社会的な使
命が課せられています。それぞれが個々の課題を持っ
て前向きに実践していきましょう。きっと誰もが安
心して暮らせる明るく元気な地域社会が生まれると
信じています。

みぎわ園でも昨年は厳しい状況が続きました。春
にはコロナ7波の拡大でご利用者、職員が感染しナ
オミ館を閉鎖。年末には、オミクロン株の拡大で感
染者、濃厚接触者、体調不良者が出て感染防止のた
め職員の自宅待機者が増え、介護人材不足が起り
ました。ところが、ご利用者の皆さんの介護に万全
を尽くすため、各部署から応援体制の協力が得られ、
ほぼ予定どおりの介護や事業を展開しました。オー
バーワークを心配しましたが、職員がみぎわ会の倫
理を守り、よく頑張ってもらえたこと職員に感謝する
ばかりです。一方で、介護機器やITによる事務運
営が進みました。

芳田地区に自治協議会が設立され、みぎわ会も参
加させてもらっています。11月には、芳田の里ふれ
あいフェスタが開催され介護サービスの相談会も実
施でき、新たな活動が生まれています。

次年度の職員全体研修として、みぎわ会が大切に
していることを周知するため、園長はじめ幹部6人
で研修教材を制作しています。介護技術の向上を図
るだけでなく、みぎわ会の倫理を確りと身につける
ことが基本だと考えたからです。テーマは「喜び」
「笑顔」「和」「看取り」「食」「神の愛」「約束」
の7項目です。

今年も、ご利用者、ご家族に満足していただける
よう、全力で取り組んでいきます。



トライやる ウィーク

3年ぶりのトライやるウィークとなりました。西脇南中学校2年生5名の生徒さんが5日間、みぎわ会の各施設でご利用者の皆さんとたくさんのイベントに参加され一緒に楽しめました。



2年生 施設授業



出前授業



多可高校の出前授業に行ってきました。今年度は、1年生全員を対象に在宅支援1時間・施設支援1時間の計2時間。2学年福祉類型を選択された生徒の皆さんに、在宅支援と在宅介護2時間・施設支援と施設介護2時間の計4時間と、たくさんの授業枠の中でさせていただきました。1年生の生徒さんには老人福祉を『知る』内容。2年生は専門的に『看取り介護・コミュニケーション力・事故防止・在宅事例・ケアマネジャーの仕事』など、より深い内容となりました。コミュニケーションでは、ジェスチャーゲームが盛り上がり楽しい時間となったようです。福祉授業の中で、一人ひとりが福祉に対する『何か』のきっかけになればと思います。年明けにもう1時間枠が残っていますが、職員の皆さん、多可高校の先生、生徒の皆さんありがとうございました。

1・2年生 在宅授業



外国人就職面接会



来年度採用予定の面接会に、篠山学園へ行ってきました。

今年度初めて外国人スタッフを受け入れ9ヶ月が経ち、受け入れる前にはたくさんの不安。準備不足は無いかなど本当にやきもきしたものでした。心配した不安をよそに、入職した職員も当初から頑張ってくれていますので、次の採用に繋がる一歩になっていると感じています。職員、ご利用者の皆さんの優しさに助けられながら、次の採用にむけて続けていきたいと思っています。



— 篠山学園授業風景 —



— 面接会場 —



各施設運動会

スポーツの秋！！

コロナ禍ではありますが、身体を動かすこと、楽しさを共有し笑顔を見せあうことは、健康維持には欠かせないものです。今年も運動会開催にあたり、競技に参加される方は極力マスクを付けてもらったり、同じ競技を2回に分けて行ったり、会場を2箇所に分けて開催したりと、それぞれの施設が試行錯誤して『感染対策』をしながら運動会を開催しました。



レクリハ活動（9月～11月）



特別養護老人ホーム
みぎわ園



毎月テーマを決めてレクリハ活動を行っています。制作・歌・栽培・運動etc. ご利用者にとって日常を楽しんでいただくことが機能訓練へと結びついています。今後も皆さんに楽しんでいただけるレクリエーションを提供していきます。



いずみ寮



作品展



美味しい
お抹茶とお菓子をどうぞ

お庭で採れたサツマイモ



綿菓子 最高!



3F



作品展



みぎわ園



職員も
記念に1枚



3F



特別養護老人ホーム
みぎわ園

避難訓練



冬の到来前に避難訓練を行いました。夜間を想定した訓練でしたが、皆さん本番さながらの緊迫感で訓練に参加されました。



クリスマス会

軽費老人ホーム
いずみ寮

芋ほり&つるの筋取り



お楽しみ食

お寿司、天ぷら、お好み焼き、オムライス…一人ひとりにお聞きしてご希望の食事を取り寄せました。食堂に入られ、席に座る前から「わぁ〜！」と笑顔に…♪「おいしかった〜！」と、皆さん喜ばれていました。

今年は大きなさつまいもがたくさん収穫できました！さつまいもはふかし芋で、芋のツルは筋をとって炊いて頂きました。

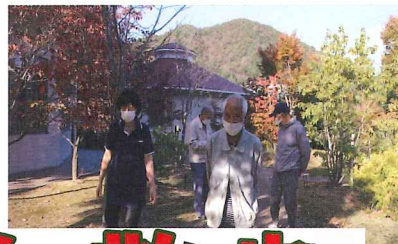
秋の味覚



毎年恒例のさつま芋掘りをしました。今年のお芋はシルクスイートという新しい品種でした。口触りもよく、甘くしっとりとしたお味で「もう一個食べたいわ」とおかわりされる方が沢山おられました。



デイサービスセンター
ナオミ館



お散歩



新しい仲間ができました

みぎわ園居宅介護支援事業所
在宅介護支援センター

10月より居宅でお世話になっている柴田です。

毎日、覚えることがたくさんですが、少しずつ得られる知識が喜びとなっています。利用者様から安心して頂けるよう誠心誠意の対応に努めて参りたいと思います。

今後とも、よろしくお願い致します。

10月より、新体制で頑張っています。

若いパワーが加わって、さらに皆様のご相談に柔軟に対応させていただきます！



ヘルパーとともに 歩んだ10年間

みぎわ園
ヘルパーステーション

Aさんに初めてお出会いしたのは10年前でしたね。杖をついて川べりを散歩されていたことを思い出します。

お一人暮らしでしたがケアマネージャーさんが親身になり、どうすれば安心して生活できるか考え、Aさんの気持ちを引き出し、それに添ってヘルパーも共に歩んだ10年でした。

歩行車を使うようになられても、家計を引きしめ料理は手作り。しかし時にはお好み焼きやわらび餅、「肉でも食べて元気だそう！」とちょっぴり贅沢にお肉屋さんで牛肉を購入されることもありましたね。

クリスマスを前に入院が決まり、ヘルパーの訪問は終了となりました。急な別れは寂しいけれどみぎわ園から新たな旅立ちを応援しています。



ひさしぶりの ドライブ外出



ひさしぶりのドライブ外出、
皆さま楽しめました♪



ケアハウス ハンナ館



大根の種蒔き



収穫が楽しみです(^-^)

— 今月のみことば —

希望の光



[今年の御言葉に寄せて]

新しい年を迎え、皆さまの上に希望が豊かにありますように、心からお祈り申し上げます。今年の御言葉は、

「主はわたしの光、わたしの救いだ、わたしはだれをおそれよう。
主はわたしの命のとりでだ。わたしはだれをおじ恐れよう」(詩篇27:1)

とさせて頂きました。この御言葉は、人々が苦難の中でおののいていた時、神様から、「光」「救い」「とりで」という三重の表現で守って下さるという約束を頂いたのです。そしてこの「光」は、救い主として世に来られた「イエス様」なのです。



「希望の光」

「きょうダビデの町に、あなたがたのために救い主がおうまれになった。
このかたこそ主なるキリストである」(ルカ2:11)

混沌としている世の中であって、真実の神様の御言葉を信じて歩む所に平安と安心が与えられます。イエス様は、苦しみと悩みと危機の暗黒の中にいる私達に「希望の光」を与えて下さったのです。



「みぎわ教会にて」

昨年も、いろいろな事が世の中で起こりましたが、今年も暗闇の中の一条の光が、皆様の希望の光となりますよう、お祈り申し上げます。

昨年の礼拝も、コロナ感染予防として各施設、各階、各ご家庭に休む事なく、オンラインにて配信させて頂きました。そのためには、多くの職員の皆様のお働きがあったからこそと、心から感謝致します。今年も皆様のご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

芳田の里ふれあいフェスタ

11月6日（日）秋晴れの下、
芳田の里ふれあいフェスタが開催



1000人を超える方々が参加、交流を深める事ができました。みぎわ会も地元の事業所として、施設の紹介やお困り事相談等参加させて頂きました。福祉事業所様にも協力頂き、歩行器やおしゃべり人形等お借りし展示させて頂きました。施設紹介では、大型テレビを設置し「みぎわの里の日々の暮らし」を放映、いずみ寮やハンナ館をご存知ない方にも知って頂く機会になりました。

また、「まだ先の話やけど、歩行器を借りるのはどうしたらいいの?」と問い合わせもあり、お話をさせて頂きました。みぎわ会を知って頂きたいと願い居宅職員が描いたポストカードも配らせて頂きました。澄み切った青空、紅葉した山々の自然豊かな景色を見ながら、住み慣れた地域で安心した暮らしができる支援を、微力ながらもお手伝いできたらと改めて思った1日でした。



花苗 ありがとうございます



今回も夢うさぎさんからたくさん頂きました。感謝です。
大切に育てます！



マッスルスーツ

デモンストレーション



このスーツを装着すると、腰の負担を軽減できるそうです。介護の現場での様々なシーンに活用できるのではと、現場スタッフを交えてデモンストレーションを受けました。



クリスマス・イルミネーション



今年もクリスマスシーズンとなり、街中でもイルミネーションを見かけるようになりました。みぎわ園でも毎年Xmasイルミネーションをしておりますが、今年は例年と場所を変えて飾りつけをしています。

「ご利用者の車いすの目線でも見れるように」と要望もあり、食堂からも見えるようにしています。名付けて

ミギナリエ(^_^)

(編集後記)
皆さま良き新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。
いつもみぎわ会たよりをご覧頂きありがとうございます。年4回の発行となり、早くも2年になりました。今後も委員一同協力し、みぎわ会の活動や日常の様子などを届けていきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

(笹倉)